

森山町小学校

平成21年度

スクールフォーラム

中庭の蓮の花



教育目標

自ら考え 心豊かに 健やかに
たくましく生きる子の育成

健康な子

- ・ 明るく元気な子
- ・ 礼儀正しい子
- ・ 自主性のある子
- ・ 思いやりのある子
- ・ よく働く子

考える子

- ・ 自分の
思いや考えをもてる子
- ・ 相手意識のある子
- ・ 創造力・表現力のある子

めざす学校像

- 安全・安心で楽しい学校
- 学ぶ喜びを味わい
確かな学力が身につく学校
- 一人一人が大切にされ、
個性がいかされる学校
- 地域に開かれた学校



本年度の重点事項

1 確かな学力の定着

(1) わかる授業・楽しい授業創り

・学習意欲

「どうしてだろう」「調べてみたい」

・思い考えをもつ、深める

「私はこう思う」「なるほど・・・」

「こんなに 大変だったのか」

・ふり返り、成果

「こんなことがわかった」

「やってよかった」

「できるようになって うれしい」



(2) 一人一人に応じた指導の充実

- ・日々の授業の中で
- ・算数少人数指導

(3) 「学力・学習状況調査」

結果の分析と指導

- ・課題に対応して
基礎・基本の力
活用する力

(4) 朝学習の充実

- ・朝読書、読み聞かせ
- ・反復学習（ドリル）



2 健康教育の推進

~ これまでの取り組みの成果を基盤に ~

- なかよし遊び
- スポチャレ石川
- 健康ルームなど
- ライフスタイルの向上



3 生徒指導の充実

- ・ 基本的な生活習慣の定着
- ・ 全職員の共通理解と取り組み

4 思いやりの心の育成

- (1) 体験活動の充実
 - ・ 自然体験
 - ・ 社会体験
 - ・ ボランティア活動
- (2) 道徳の授業の充実



5 地域に学び、 地域に開かれた学校づくり

(1) 地域の文化や人との絆

- ・ 地域の「人」「もの」「こと」にふれ
地域のよさを知る。
- ・ ユネスコスクール



(2) 行事や授業等の公開

- ・ 全市一斉公開週間

6月1日（月）～5日（金）

- ・ いしかわ教育ウィーク

11月1日（日）～7日（土）

(3) アンケート等を活用した学校評価



教育活動の改善・充実

学習指導

国語科・算数科の基礎学力の定着

- 基礎的な計算力や漢字の読み書きの力
- 学習ルール
 - 聞く
 - 話す
 - 姿勢
 - 持ちもの
- 家庭学習の習慣づけ
(10分×学年)の
家庭学習時間の習慣づけ



子どもが学びたくなる授業創り

- 研究主題

豊かな学びの創造

～ 学びたくなる授業創りをめざして～

H21年度 金沢市研究指定

ユネスコスクール



H21年度 ユネスコスクール金沢市研究指定

ユネスコスクール（ESD）

の研究指定校としての役割

- ESDの視点を取り入れた、教科等と「総合的な学習の時間」の関連を重視した研究を推進する。

- ESDとは・・・

- 持続可能な社会を目指し、私たち一人ひとりが、よりよい社会づくりに参画するための力を育む教育

郷土食材である「麩」を通して、学びを創る
授業実践例： 5年 「麩」を使った レシピづくり

麩の調べ学習

- ・ 素材と出会う
- ・ 疑問をもつ

専門的な知識

宮田司麩との
出会い

麩の工場へ見学に行く

学んできたことを
みんなで探究する

探究する： 麩を使った創作料理を
考えてつくる



保護者の参加

E S D の価値観 自分で感じ、考える力

発信する： 麩を通して学んだことを
HPで伝える



ESDでは、学びのプロセスを大切にする

専門的な知識

宮田司麩と
の
出会い

職人さんの
真剣に働く
姿から学ぶ

保護者の参加



学びの方法

学習者が主体的に学ぶ姿
参加型の手法を活かす
関わる人が互いに学び合える
継続的な学びのプロセスがある
現実的課題に実践的取り組む
ただ一つの正解をあらかじめ用意しない

E S Dを通じて育みたい「能力」

自分で感じ、考える力

問題の本質を見抜く力 / 批判する能力

気持ちや考えを表現する力

多様な価値観をみとめ、尊重する力

他者と協力してものごとを進める力

具体的な解決方法を生み出す力

自分が望む社会を思い描く力

地域や国、地球の環境容量を理解する力

みずから実践する力

問題の本質を見抜く力

/ 批判する能力

- ・ 宮田さんの、職人としての生き方に
ふれる中で、学んだこと。
- ・ 国産小麦にこだわって「麩」と作る理由



- ・ 食の安全が脅かされているニュース
(保護者や子どもの不安感と不信)



子どもとともに作り上げた学習課題

どんなことに気をつけて
食材を選んだらよいのだろうか？

ユネスコスクール（ESD）取り組み計画（案）

教科の中で・・・

- 1 年生 卯辰山の自然にふれる
地域のお年寄りから学ぶ
- 2 年生 地域のお店「松永のかき氷」と親しむ

教科と総合的な学習の時間を使って・・・

- 3 年生 ・ 寺で茶会をしよう
- 4 年生 ・ 地域の防災探検をしよう
・ 地域の発展に尽くした人から学ぼう
・ 森山校区の金箔から学びを広げて

ユネスコルクール（E S D）

教科と総合的な学習の時間を使って・・・

5年生・・・郷土食材「麩」を用いた
創作レシピづくり



6年生・・・加賀友禅で自分の夢を語る
「卒業証書台紙をつくろう」

生徒指導

友達との関わりを大切にして
行動することができる子

- 一人一人の居場所があり
楽しい学校生活が送れる
- 思いやりのある学級集団づくり
- 仲間作りのための
活動や授業づくり



集団生活に必要な決まりや約束を理解し、実践する力を育くむ。

- 身だしなみを整える
（安全帽、ネーム、ポロシャツイン）
- 家庭との連携を図り、
基本的な生活習慣を身につける。
早寝、早起き、朝ご飯（昨年度93%）
- 時間を守るなど、集団生活に必要な
決まりを守り、行動できる子



特別活動

- 心と体を育む体験活動に取り組む。
たてわり遠足、たてわり遊び
1年生を迎える会、6年生をおくる会
- 主体的な実践行動に結びつく
資質能力の育成
- 児童生徒が企画したボランティア活動



児童会による朝のあいさつ運動



児童生徒が企画をし、
「絆」づくりのための体験活動をする。

- 進んであいさつができる
- 家庭でのあいさつする習慣

